

第49回日本クラブユースサッカー選手権 U-18 派遣レポート

山口県 FA 柳林謙吾

【名称】

- ・第49回 日本クラブユースサッカー選手権 (U-18) 大会

【主催】

- ・公益財団法人日本サッカー協会、一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟

【主管】

- ・関東クラブユースサッカー連盟、公益社団法人群馬県サッカー協会、一般社団法人神奈川県サッカー協会、一般社団法人横浜サッカー協会、関西クラブユースサッカー連盟、中国クラブユースサッカー連盟、一般社団法人山口県サッカー協会、公益財団法人広島県サッカー協会、九州クラブユースサッカー連盟、一般社団法人宮崎県サッカー協会

【大会期日】

- ・7月22日～7月31日
(7/22～7/25 までグループステージ、7/26 準々決勝 7/29 準決勝 7/31 決勝)

【開催県・会場】

- ・グループステージ～準々決勝まで地域開催
(関東) バニーズ群馬宮城総合運動場、大野工業大胡総合運動公園、群馬県立敷島公園補助陸上競技場、玉村町北部公園サッカー場 (以上、群馬県)
(関西) J-GREEN 堺 S1、ヤンマースタジアム長居、ヤンマーフィールド長居、万博記念競技場 (以上、大阪府)、ユニバー記念競技場 (兵庫県)
(中国) 維新みらいふスタジアム、山口きらら博記念公園サッカー・ラグビー場 (以上、山口県)、
みよし運動公園陸上競技場、福山通運ローズスタジアム (福山市竹ヶ端運動公園陸上競技場) (以上、広島県)
(九州) アミノバイタルトレーニングセンター サッカー・ラグビー場、アミノバイタルトレーニングセンター多目的グラウンド、KUROKIRI STADIUM (宮崎県山之口陸上競技場)、日南運動公園陸上競技場 (以上、宮崎県)
- ・準決勝・決勝
ニッパツ三ツ沢球技場、三ツ沢公園陸上競技場 (神奈川県)
- ・出場チーム 全国9地域の代表 32 チーム
北海道 (1) 東北 (3) 関東 (11) 北信越 (2) 東海 (3) 関西 (4) 中国 (2)
四国 (1) 九州 (5)

【期間・会場】

・ 7/22 日～7/26 日 広島県会場

【事前研修】

第 1 回 7/8 日(火) 大会要項、大会概要、競技規則改正点について、事務連絡

第 2 回 7/21 日(月)・参加審判員全体ミーティング、競技規則改正点について、
会場に分かれて割当発表等、確認事項等

【大会テーマ】

・ 大会を成功させること

・ サッカーの「4 局面」と「球際」を理解したレフェリング

<期待したい効果・結果>

- ・ サッカーの 4 局面を理解し、素早い攻守の切替えに対応できる
- ・ 争点に適切なポジションで対応し、球際をよく見極め、ゲームコントロールを行う
- ・ 試合運営、選手・ベンチ管理を審判チームで協力して行う

【派遣日程】

7/22 13：30、ホテル到着、 18：00 試合(グループステージ第 1 節)

7/23 10：00～12：00、振り返り 18：00 試合(グループステージ第 2 節)

7/24 10：00～12：00、振り返り その後自由行動

7/25 18：00 試合(グループステージ第 3 節)

7/26 8：00～9：30、振り返り 10：00～解散

【割当】

7/22 横浜 F マリノスユース VS 鹿児島ユナイテッド U-18 (主審)

7/23 横浜 F マリノスユース VS アルビレックス新潟 U-18 (主審)

7/25 鹿児島ユナイテッド U-18 VS アルビレックス新潟 U-18 (副審)

3 試合とも福山通運ローズスタジアムでの試合でした

【振り返り】

① 横浜 F マリノスユース (2-1) 鹿児島ユナイテッド U-18 INS: 脇山哲郎 氏(福岡)

A1: 阿部達也 氏(新潟) A2: 井上遊星 氏(広島) 4 t h: 大久保秀斗 氏(岡山)

(良かった点)

- ・ファウルの判定は概ね OK。
- ・動き出し、スプリントが良い。継続すること。
- ・8 秒カウントの際、声、シグナルともに大きくわかりやすかった。

(課題点)

- ・マネジメント。異議に対して主審としての強さを見せたい。
- ・コーナーキックの際の注意は早めに介入したい。
- ・ポジショニング。ポゼッションのチームに対しては、後追いで見たい。
中に入り込みすぎると見えなくなる。プレーを前において視野を広くして監視する。
先読みした動きと後追いを戦術に対して使い分ける。止まる動きをもう少し使いたい。

(その他)

- ・他会場でおきた事象について共有しました。交代手続きに関しては、4 t h だけに任せるのではなく、ベンチに急かされても慌てずに、落ち着いて確認して行うこと。
交代を行う時はベンチ、観客にも分かるようにできるだけボードを使用する。
時間帯も考えながら。

② 横浜 F マリノスユース (2-2) アルビレックス新潟 U-18 INS: 相葉忠臣 氏(熊本)

A1: 松岡広大 氏(岡山) A2: 佐野生昂 氏(岡山) 4 t h: 市川航輔 氏(岡山)

(良かった点)

- ・ファウルの判定は OK。
- ・アドバンテージの適用が多かったがすべて良い適用だった。
- ・スプリント OK。

(課題点)

- ・動きとポジショニング。レフェリーサイドをもう少し使いたい。
スペースを空けるために中にいるのは良くない。
必要な時にあけてあげる。
ボールを右手においてプレーを監視したい。
- ・縦パスへの意識がもう少し欲しい。
攻撃側がどのタイミングで縦を使うか、前の選手の動きを見ながら予測して動き出しを早くしたい。さがる動きを減らしていきたい。
- ・マネジメント
注意をする際、指をさす等のジェスチャーは使わない方がよい。印象が悪い。

③ 鹿児島ユナイテッド U-18 (0-1) アルビレックス新潟 U-18 INS: 脇山哲郎 氏(福岡)

R:勝山俊平 氏(茨城) A2:廣末存果 氏(岡山) 4 t h :岸本圭司 氏(岡山)

(良かった点)

- ・ シグナルが綺麗。
- ・ 主審と積極的にアイコンタクトを取り、協力して行えた。

(課題点)

- ・ ラインが少しずれていた時があった。フルタイム、ずらさない意識を強くもつ。

【最後に】

この度はクラブユースU-18 全国大会に派遣していただき、ありがとうございました。

私自身初めての全国大会派遣で緊張していましたが、無事終了して安堵しております。

担当した3試合とも白熱した好ゲームでとても楽しい時間でした。

その中でも自分でチャレンジして良かった点、課題点もあり、多くのことを学ばせていただきました。

また、他地域の方とも交流でき、良い刺激もあり5日間、有意義な時間を過ごせました。

実際にはもっと多くのことをご指導頂いたので、今回の経験を中国地域、山口県に還元できるよう活動していきます。

そして、自分の目標である1級審判員を目指して、今回得た経験を日々の審判活動に生かし、成長できるよう精進して参ります。

今後とも、ご指導の程よろしくお願いいたします。

